

1. 科目名（単位 数）	医療的ケア実践論（2 単位）	3. 科目番号	SNMP3110 SNMP3110
2. 授業担当教員	山下 喜代美		
4. 授業形態	講義 演習	5. 開講学期	秋期
6. 履修条件・ 他科目との関係	「医療的ケア論」と同時に履修すること		
7. 講義概要	医療的ケアを実施するための基本研修となる科目である。 喀痰吸引を安全・適切に実施するために必要な、呼吸器の構造と機能、小児と成人の違い、人工呼吸器、吸引の危険性と事後の安全確認、吸引に必要な器具、痰の喀出に伴うケアについて学ぶ。 経管栄養を安全・適切に実施するために必要な、消化器の構造と機能、小児と成人の違い、人工呼吸器、経管栄養の危険性と事後の安全確認、経管栄養に必要な器具、経管栄養にケアについて学ぶ。 また医療的ケアが必要な人や家族の気持ちとそのケアについても学ぶ。		
8. 学習目標	1. 呼吸のしくみとはたらきが説明できる 2. 喀痰吸引が必要な状態を説明できる 3. 人工呼吸器装着者の吸引の必要性和留意点が説明できる 4. 消化器のしくみとはたらきが説明できる 5. 経管栄養法が必要な状態を説明できる 6. 経管栄養法の種類を説明できる 7. 医療的ケアが必要な人とその家族の気持ちを理解できる		
9. アサイメント （宿題）及びレポ ート課題	レポート課題 課題 1. 喀痰吸引が必要な状態について(400字) 課題 2. 経管栄養法が必要な状態について(400字) 課題 3. 生活支援の延長としての医療的ケアの実践について(800字)		
10. 教科書・参考 書・教材	【教科書】介護福祉士養成講座編集委員会編集『最新介護福祉士養成講座 15 医療的ケア第 2 版』 【参考書】久良木香監修『「たんの吸引・経管栄養」がスラスラわかるイラスト学習帳』 服部万里子編著『介護職員のための今すぐ知りたい医療行為実技ガイド』		
11. 成績評価の規準 と評定の方法	○成績評価の規準 1. 呼吸器、消化器のしくみとはたらきを理解できたか 2. 医療的ケアを必要とする状態を理解できたか 3. 喀痰吸引、経管栄養法の実施に伴う基本的な知識を身に付けることができたか ○評定の方法 〔授業で課した課題、期末試験を総合的に評価する〕 1 課題 総合点の 2 0 % 2 期末試験 総合点の 8 0 % 知識の定着が必要な科目であるため、期末試験に重点を置く。またそのことで知識を身に付ける必要性を認識させ、学ぶ意欲を高めていく。		
12. 受講生への メッセージ	介護福祉士に医療的ケアの実施が認められ、その基本研修となる科目です。 医療的ケアは、生命に直接関わるケアです。授業には真剣に取り組んでください。 授業への取り組む姿勢によっては、単位の修得を認めないこともあります。 実技を行うときは、習得できるまで何度も繰り返し行ってください。		
13. オフィスアワー	別途通知する。		
14. 授業展開及び授業内容			
講義日程	授業内容	学習課題	
第 1 回	ガイダンス 授業概要の説明 喀痰の吸引 経管栄養に必要な知識について	事前学習	シラバスを読み、授業の概要をつかんでおく
		事後学習	必要な知識について整理しておく
第 2 回	呼吸器官の構造と機能	事前学習	呼吸器官の構造を復習しておく
		事後学習	呼吸器官の構造と機能を整理しておく
第 3 回	呼吸状態の観察 正常な呼吸と異常な呼吸、呼吸苦がもたら す苦痛と障害、喀痰吸引が必要な状態、成人 と小児の吸引の違い	事前学習	呼吸の観察方法を復習しておく
		事後学習	異常な呼吸の特徴をまとめる 成人と小児の吸引の違いをまとめる
第 4 回	人工呼吸器と吸引 人工呼吸器が必要な状態 課題 1	事前学習	教科書 p.108 図 2-4 人工呼吸器のしくみをみておく
		事後学習	課題 1
第 5 回	喀痰吸引を受ける利用者や家族の気持ちと対 応、喀痰吸引によって生じる危険と事後の安全 確認	事前学習	教科書 pp.121～123 を読み、喀痰吸引を受ける家族の気持ちを考えておく
		事後学習	喀痰吸引によって生じる危険についてまとめておく
第 6 回	喀痰吸引で用いる器具・器材の取り扱い(1) 吸引器の取り扱い	事前学習	教科書 p.143 表 2-6 図 2- 10 吸引に必要な物品を理解しておく
		事後学習	器具の名称を覚える
第 7 回	喀痰吸引で用いる器具・器材の取り扱い(2) 吸引圧の調整 模擬痰の吸引	事前学習	器具の取り扱いのポイントを復習しておく
		事後学習	器具の取り扱いをまとめる
第 8 回	消化器官の構造と機能	事前学習	消化器官の構造と機能を復習しておく
		事後学習	消化器官の構造を整理しておく
第 9 回	消化と吸収 消化器症状の観察	事前学習	消化と吸収について復習しておく

	経管栄養が必要な状態	課題 2	事後学習	課題 2
第 1 0 回	経管栄養法の種類 成人と小児の経管栄養法の違い		事前学習	教科書 pp.172・174 を読み、経管栄養法の概要を理解しておく
			事後学習	成人と小児の経管栄養法の違いをまとめる
第 1 1 回	経管栄養法を受ける利用者や家族の気持ちと 対応、経管栄養法によって生じる危険と事後 の安全確認		事前学習	教科書 pp.188～189 を読み、経管栄養法を受ける家族の 気持ちを理解しておく
			事後学習	経管栄養法によって生じる危険をまとめておく
第 1 2 回	経管栄養剤の準備		事前学習	教科書 p.181 表 3-2 栄養剤の種類と特徴を理解しておく
			事後学習	経管栄養剤の準備の留意点をまとめる
第 1 3 回	経管栄養法で用いる器具・器材の取り扱い① イルリガートル 栄養点滴チューブ シリン ジ の取り扱い		事前学習	教科書 p.206 図 3-13 をみて、必要な器材を理解しておく
			事後学習	器具・器材の名称を覚える
第 1 4 回	経管栄養法で用いる器具・器材の取り扱い② 滴下量の調整		事前学習	器具・器材の取り扱いを復習しておく
			事後学習	器具・器材の取り扱いをまとめる
第 1 5 回	医療的ケアについてのまとめ (介護福祉士として、医療的ケアを実践する 責任と自覚)	課題 3	事前学習	医療的ケアとは何か自分の言葉で説明できるようにして おく
			事後学習	課題 3
期末試験				